

大阪みどり

浪速ダービーを制し、近畿大会連覇

吹田選抜に14対9

9月6～7日 富田林総合スポーツ公園競技場

夜来の雨も明け方にはすっかり上がり、コバルトブルーの秋晴れの下、第28回近畿地区GB選手権大会が、9月6～7日富田林総合スポーツ公園競技場に、6府県120チーム700名が参加して行われた。

24コートに5チームずつが入って行われた予選リーグ戦を和歌山6、滋賀・京都・大阪・兵庫各4、奈良2の各チームが勝ち上がった。

下馬評の高かった京都亀岡篠、大阪みどり、兵庫黒田庄、和歌山美浜煙樹、奈良大和五條など、順当に決勝トーナメントに進出した。



選手宣誓：大阪みどり 島田章宏さん

決勝戦は、瀬田に内容勝ち、残り15分で番が上がってしまうも、はまゆうに辛勝した吹田選抜（主将は大阪若竹会橋本健吾）、黒田庄の好機でのミスタッチを誘う幸運を呼び寄せて勝ち上がった大阪みどりによる、淀川を挟んだまさに『浪速ダービー』となった。

序盤を制したのは白の大阪みどり。番が2G付近に集まったところ番友寄が1G2Gを一気通過、番をOBに。

中盤、赤吹田選抜が盛り返す。



大阪みどり：藤條美恵子さん

3順目、吹田選抜番の大原が1G通過後、G前の番にロングタッチ、白3球をOBに。

吹田選抜が試合の主導権を握ったかに見えたが、3Gでの番のダブルセットを、みどり番の佐野が、2コーナー付近から番を使って見事にスライド。番を上げたのち、3G裏の番にタッチ、続けて番をもOBに。

大阪みどりが第28回近畿大会を制した。

島田主将：今大会好調だった番佐野君が、最後まできっちり仕上げてくれた。快勝です。

橋本主将：最後に先を急いでしまった。番をやり過ごしてからダブルセットすべきだった。残念です。



優勝：大阪みどりチーム



準優勝：吹田選抜チーム



決勝戦審判：池永・佐上・杉山さん